

【R7年度】重点目標の取組・概要（泉州山手線との交通結節点（山直東）におけるまちづくりの推進[広域幹線計画事業・広域幹線沿道整備調査事業]）

担当課（内線）	都市整備課広域連携軸整備担当（3125）	重点目標の方向性	泉州山手線沿道を中心とした拠点形成とアクセス性の向上
重点目標	2 経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	地域の活性化につながる新たな拠点の整備を進める

現状と課題
<p>本事業は、泉州山手線の延伸に伴い、現在市街化調整区域となっている沿道の地区を対象に、総計、都市マスといった上位計画に基づき、無秩序な土地利用を防止し泉州山手線の整備効果の最大化を図ることを目的とするもの。</p> <p>泉州山手線の事業主体である大阪府からもその取組みを強く求められている。（令和元年7月の泉州山手線の整備に関する覚書の中にも記載）</p>

R7年度の事業費（内訳）
<p>広域幹線沿道整備調査事業 ￥51,756（千円）</p> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地区画整理事業補助金（公共施設整備管理者負担金）</li> <li>○まちづくり関連委託料（まちづくり研究会開催支援等）</li> <li>○公有財産土地購入費</li> <li>○その他</li> </ul>

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泉州山手線の事業着手とまちづくりに合わせた整備の進捗</li> <li>まちづくりと泉州山手線の延伸は同様のスケジュール感を持って進めて行く必要があり、誘致企業の操業やまちびらきに大きく関わってきます。</li> </ul> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>R7年度 R6年度設立予定の岸和田市山直東土地区画整理組合への公共施設管理者負担金含む技術的援助、山直東まちづくり研究会におけるまちづくり検討等</p> <p>R8年度～ まちづくり事業（公共施設整備工事、土地区画整理事業）、順次誘致企業の決定、地権者説明会や相談会等実施（まちづくり研究会や土地区画整理組合で地域と調和したにぎわいのあるまちづくりに向けルール作り等）</p> <p>【R7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <p>（期間）山直東まちづくりについては、R12年度までの8年間（土地区画整理事業はR7～11迄）を想定</p> <p>（対象者）山直東まちづくり研究会、 仮称）岸和田市山直東土地区画整理組合、岸和田市</p> <p>（手法）土地区画整理事業+各種公共施設整備等</p>

R8年度以降の想定事業費（ランニング経費）
<p>R8年度 658,600（千円）</p> <p>R9年度 539,200（千円）</p> <p>R10年度 291,100（千円）</p> <p>R11年度 204,600（千円）</p> <p>R12年度 53,800（千円）</p>

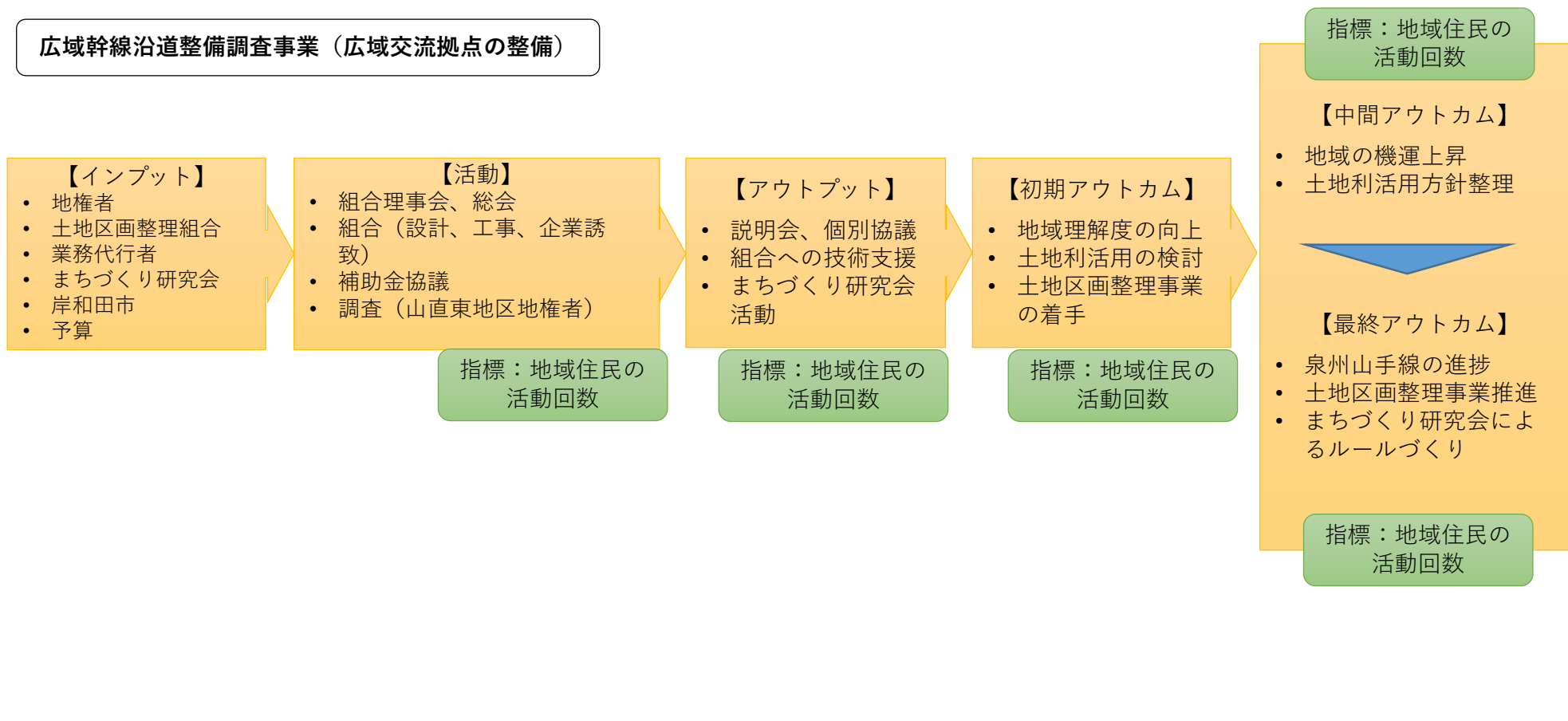
取組の進捗・成果を測る指標
<p>○山直東まちづくりに関する地域住民の活動回数（山直東まちづくり研究会、土地区画整理組合） 12回/年（R7）</p>

成果・指標が未達成の場合の取扱い
<p>※必ず縮小・廃止時期を記載すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府への要望の強化</li> <li>・地域住民への周知活動の強化</li> <li>・R8での改善及び継続強化</li> </ul>

# 【R7年度】重点目標の取組・ロジックモデル（[広域幹線計画事業・広域幹線沿道整備調査事業]）

## ロジックモデル【事業立案時点】

### 広域幹線沿道整備調査事業（広域交流拠点の整備）



財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○土地区画整理事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）</li> <li>○その他</li> </ul>	<p>【泉州山手線延伸に関する他市状況】                      貝塚市 事業スケジュール（貝塚中央線～水間和泉橋本停車場線区間）                      令和2～3年度 測量・設計、令和4～8年度 用地買収、令和7～11年度 工事</p>	

## ■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 泉州山手線の事業着手とまちづくりに合わせた整備の進捗

## ■ R7年度において実施・実現できたこと

- 岸和田市山直東土地区画整理組合の設立（技術的援助）
- 地域主体のまちづくりに向けた山直東まちづくり研究会における情報発信、土地の利活用等に関する個別相談会等実施

## ■ R7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- R6年度設立予定の岸和田市山直東土地区画整理組合への公共施設管理者負担金含む技術的援助
- 山直東まちづくり研究会におけるまちづくり検討等

## ■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R7年度実績値
○	山直東まちづくりに関する地域住民の活動回数	回	12（R5）	累計48（R8）	19 (R7までの累計：62)

## ■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- 土地区画整理事業の工事着手

## ■ 課題分析

- 関係機関協議等により事業計画案の作成に時間を要したことから、組合の設立が遅延した

## ■ ロジックモデルの振り返り

- ロジックモデルにおいて設定したとおりの活動及びアウトプット算出を実現でき、徐々に初期アウトカムの発現が進んでいる
- 引き続き、事業を推進し、アウトカムの発現に努める

## ■ 次年度以降の予定・改善内容

- 土地区画整理事業のスムーズな工事着手に向けた各関係機関協議等を進める
- 山直東まちづくり研究会においては、引続き地権者の土地利活用意向の把握等を行い、まちづくりへの理解度の向上と泉州山手線の進捗と合わせた土地利活用に向けた検討を行う